

拝啓 今年暑い夏が続きましたが、やっと秋らしい涼しい頃となりました。皆様お変わりございませんか。いつもエンカウンターをお読みいただきありがとうございます。近所の公園では、花は少し端境期のような感じで、秋の花の開花の準備中という時期です。

今月は、小西先生の『ローマ人への手紙講解説教』の第5回目です。小西先生のロマ書3章21節、22節の最も大切な箇所の講解です。称名が最もすぐれた贖いの信仰への祈りであり、受け方であると思います。

この9年、資料を読んだり、書いたりして準備を進めて来ました南原先生の伝記『南原繁の生涯 信仰・思想・業績』が出版されました。出版を東大出版会に断られ、岩波書店に断られ、いったいどうしようかと思いましたが、教文館で出版して下さい、誠にありがたく思っています。教文館会長の宮原守男氏にお願いした時、「これは出す、教文館は南原先生に義理がある」と言って、即座に引き受けてくれたことは、本当にうれしく思いました。人生で最も嬉しかった瞬間の一つでしょう。また、1月以来、編集を担当して下さいのが教文館社長の渡部満氏で、編集の技術、識見、定価への配慮など、最もすぐれた編集者に会い、見事に仕上げたという感想です。体裁、目次、年表、写真、人名索引なども、立派に作って頂きました。「万事が益となる」という聖書の言葉の実現でした。

思えば、熊新六氏が、南原先生との会談のメモを保存しておいてくれたこと、赤澤庄三帝国製薬社主との出会い、石井和夫さん、角本良平さん、三谷太一郎先生との出会いなど、いずれも不思議な糸に導かれ、南原先生をよく知っておられる最高の人たちを備えて頂き、助言を頂き、言葉では言えない程の協力を頂きました。エンカウンター読者の皆様にも、途中段階でたびたびこの本の様子を知らせし、お祈りをお願いしました。祈りが聞かれたわけで、ありがとうございました。

9月24日は、第9回新渡戸・南原賞授賞式が開かれ、今年は約110人が参加され、盛大で和やかに開かれました。受賞者は、大津光男さんと寺崎昌男先生で、大津光男さんには、何度かお会いし、クエーカーの信仰について教えて頂きました。寺崎先生もご家族、ご親族が多数参加され、お喜びでした。

本格的な秋に向かう、季節の変わり目、お身体ご自愛のほど、祈り申し上げます。

敬具

平成24年9月26日

山口周三

エンカウンター読者各位